

令和3年度 投資事業評価調書（継続：再評価〔第2回〕）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 古川 雅一 (街路担当主幹 金澤 真文)	内 線	4474 (4480)
事業種目	街路事業	新規評価年度	平成18(2006)年度	現計画	前回評価時点
事業名	都市計画道路事業 朝霧二見線 (谷八木工区)	事業採択年度	平成19(2007)年度	総事業費	13億円
		着工年度	平成19(2007)年度	内用地補償費	10億円
		再評価年度	平成28(2016)年度	完成予定年度	令和4 (2022)年度
事業区間	明石市大久保町谷八木	※R1年度公共事業審査会でR4への延伸報告済			
		進捗率 (用補進捗率)	99% (100%)	56% (81%)	
		残事業費	0.1億円	6億円	
事業の目的				事業内容 () 前回評価時点	
<p>当該路線は、国道2号及び国道250号を補完し、東播磨地域臨海部の東西交通を担う幹線道路である。</p> <p>○交通安全性の向上 通勤や通学等に伴う自転車や歩行者の利用が多いことから、自転車専用通行帯や歩道の整備、車道の拡幅により、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○防災機能の強化 緊急輸送道路を補完する道路として、大規模地震時等における防災機能を強化する。</p>				<p>【延長】歩道整備[両側] 400m(400m)</p> <p>【幅員】 計画：2車線+自転車専用通行帯+両側歩道 車道6.0m[全幅16.0m] 現況：2車線+片側歩道 車道5.5m[全幅7.7m]</p> <p>【現道交通量】[H28実測] (H28実測) 自動車：12,372台/日 (12,372台/日) 歩行者：173人/12h (173人/12h) 自転車：105台/12h (105台/12h)</p> <p>【負担割合】国55%、県22.5%、市22.5%</p>	
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・本路線の終点に隣接する谷八木小学校前工区に平成30(2018)年度に事業着手。 【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】 ・用地交渉に時間を要しており、完了予定年度を令和4(2022)年度に変更する。 				
進捗状況	<p>① 事業進捗率は99%、用地補償進捗率は100% (令和3年度末予定)</p> <p>② 令和2年度末で延長L=約320mが完成。用地交渉を継続し、令和4(2022)年度の供用を目指す。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び対応方針 (H28年度再評価)	【審査会意見】事業継続は妥当 現道は歩道が未整備で、自転車や歩行者にとって危険な状況であること、緊急輸送道路を補完する道路として大規模地震時等の防災機能を強化すること等、事業の必要性は高い。		【対応方針】 早期の事業完了に向け、引き続き用地交渉を継続する。		
(1)必要性	<p>①沿道周辺には、谷八木小学校や山陽電鉄中八木駅等が立地しており、多くの周辺住民が通勤や通学等として利用しているが、自動車交通が多い中、狭い路肩や歩道を通行し、危険な状況のため、安全で円滑な交通の確保が必要。</p> <p>②南北幹線道路である(都)八木松陰線と一体的な整備により、地域間の連携が強化され、地域の活性化が図れる。</p> <p>③災害時の緊急輸送道路から避難場所(谷八木小学校)へのアクセス強化が図れる。</p>				
(2)有効性 ・効率性 (執行環境状況)	<p>①広幅員化により、建物火災や倒壊等が発生した際でも通行できる道路として、防災機能の強化を図ることができる。</p> <p>②明石市の通学路安全対策箇所位置付けられている。</p>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道舗装を透水性舗装とすることで、雨水が地盤へ浸透し、ヒートアイランドの抑制や雨水流出抑制など、都市環境の改善に寄与する。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・明石市を東西につなぐ幹線道路で交通量が多く、通勤・通学等の利用者は危険な状況となっている。また、歩道が未整備のため、児童の通学路は集落内の細街路を利用しており、早期の対策が必要である。 				
再評価の結果	継続	左の理由	事業の必要性は、事業採択時と変わっておらず、東播磨地域臨海部の東西交通を担う幹線道路であることから、継続して事業を実施する必要がある。		

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第2回〕）



街路事業 都市計画道路 朝霧二見線〔谷八木工区〕

位置図



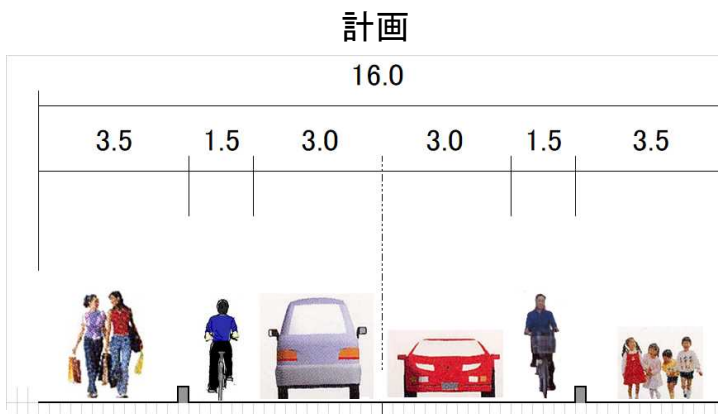
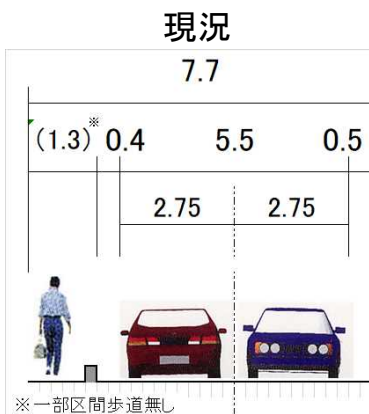
目的

- ①交通安全性の向上
- ②防災機能の強化

事業概要

事業区間: 明石市大久保町谷八木
 総事業費:13億円
 内用地補償費:10億円
 事業期間:H19~R4
 事業概要: 歩道整備
 延長: 400m

横断図



事業の必要性・優先性

- ①谷八木小学校の児童は、本路線の路肩や歩道が狭いため、集落内の細街路を通学路として利用している。整備後は本路線が通学路となるため、早期の整備が必要。
- ②南北幹線道路である(都)八木松陰線が平成27年度に完成し、本路線の整備により、地域間の連携や災害時の防災機能が強化される。

平面図



整備前の写真

①通学状況



②自転車通行状況



③(都)八木松陰線の状況(整備後)



